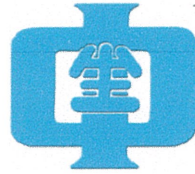


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第17号
(令和元年 9月)

文責 西澤 庄藏

2学期が始まり、はや1週間が過ぎました。

学校は、2学期早々ですが、体育大会に向けて集団演技や応援活動の練習に明け暮れる日々で、いわゆる「体育大会モード」全開となっています。今週まで続きます。

体育大会 09/15 (日) 開催

今のところ天気は晴れの予報で、予定どおりの開催を願うばかりです。スローガンを「翔舞(しょうぶ)～令和の風を巻き起こせ～」と掲げています。文字どおり、新しい「風」を起こすぐらいの意気込みで、精一杯の走りやダンスを披露します。晴れの舞台でのお子様の活躍をご声援願います。



←写真はダンスの練習風景です。

連日の雨模様で、運動場での練習がままなりません。ご覧のとおり体育館での練習でした。ただ、リーダーを中心に全生徒が必至に振り付けを覚える姿に一体感があり、充実したものでした。

さて、09/02(月)始業式の校長式辞に、2学期に臨む思いを伝えました。

式辞の皮切りに(前回この紙面に掲載した)8・9生月中学校平和宣言を名実ともに実現することの大切さに触れました。

【生月中学校平和宣言】

- 一、全ての命を大切にし、助け合います。
- 一、平和と友情を心に刻み、互いを思いやり、認め合います。
- 一、私たちの生活に目を向け、「いじめ」や「差別」をなくし、学校や学級、地域に平和を作りだすよう努力します。

日々の学校生活の中で、絶対に「いじめ」や「差別」があってははいけません。一人一人が個人を尊重し、他に対しての想像を巡らせ、思いやりや感謝の気持ちをもち続けることを説きました。

本論として「自信」「誇り」をキーワードに思いを語りました。2学期は体育大会や文化祭(「生月文化の日」)、修学旅行など学校・学年行事が目白押しです。中でも「生月文化の日」は総合的な学習の時間の発表と合唱コンクールを地域の方々にも公開します。多くの方々に生徒の活動する姿を知っていただく絶好の機会ととらえています。生徒に「大舞台で、大きな声で発表したり、演じたり、歌ったりと堂々とした立ち居振る舞いを見たい」と伝えました。学校行事を生かして生徒の成長する姿を見たいとの思いからです。さらに、学校行事だけではなく、ふだんから大きな声でありさつをしたり、校歌を歌ったりすることの大切さも伝えました。ふだんから全員が実践し続けることで、それが生月中学校のスタンダード(基準)になり、やがて、一人一人が「自信」をもつことや、学校の一員として「誇り」をもつことにもつながると考えます。「前向きな言動にあふれた2学期にしよう」と締めくくりました。

式辞の途中で部活動についても触れました。夏休みの各種大会で大半の部活動で3年生が引退し、1・2年生の新体制になりました。これまで部活動を支えてくれた3年生に、ねぎらいの言葉をかけました。おつかれさまでした。1・2年生は、新人大会に向けて、いっそう奮起すること、平素の練習を大切にすることなどを伝えました。



※写真はサッカー部の3年生最後の大会の様子です。
【08/24(土) 長崎県ジュニア・ユース選手権大会】